

議会 *Assembly*

福智町議会議長

大島道人



新年おめでとうでございます。新春を迎え、皆様には心からお喜びを申し上げますとともに、本年がすばらしい年であることをお祈り申し上げます。

さて、福智町は平成18年3月6日に合併し、間もなく2年を迎えようとしています。期待と不安が入り混じりながら合併を迎え、合併後は旧3町の壁をなくし、今後の福智町のあり方を模索しながら進んで参りましたが、思うにまかせ現在に至っております。

財政的には国の財政難を受け、地方交付税や国庫支出金の総額抑制が続く見通しの中で、収入不足を基金の取り崩しや起債で賄うという厳しい財政状況が依然続くものと考えられ、旧3町がかつて経験をした財政再建団体系の教訓を生かすことができず、緊迫した財政危機に直面しています。昨年10月に福智町行政改革大綱および集中改革プランが出されましたが、また目に見えた効果はあがっており、とりわけ滞納問題・公共施設の統廃合・徴収体制の強化等、問題は山積しています。

今後は、無駄を省き効率よく必要な支出を抑え、また、貴重な収入を増やしていく方が重要な課題になると思っております。議会としましては、行政の運営および事業の実施等が適法・適正に、しかも公平・効率的に、そして民主的になされているか、福智町全体の立場に立って監視をし、見極めていき、町民の皆様の様態や意見等を町政に反映させていく所存であります。

また、福智町議会は昨年5月に新たな20人体制となり、本町の発展並びに住民の負担に応えるべく日々努力をし、邁進していく所存でありましたが、12月初旬に1人が辞職し、現在、議員19人となりました。町民の皆様には大変ご迷惑をおかけし、申し訳なく、心からお詫び申し上げます。

今後、福智町議会といたしましては、議員の資質向上および職務を誠実に遂行していく所存でありますので、今後とも議会運営に「理解」と「支援」を賜りますようお願いを申し上げます。新年のあいさつといたします。

行政 *Administration*

福智町長

浦田弘二



新年明けましておめでとうでございます。町民の皆様におかれましては、健やかなお気持ちで新春をお迎えのことと思えます。また、日頃から町政推進にご理解ご協力をいただいておりますことを心から感謝申し上げます。福智町も、一昨年3月6日に合併して2年にならなっておりますが、合併しないほうが良かったという声を耳にするたびに、町長としての責任の重さを痛感しています。でも、そうした中で、少しずつではありますがいろいろな面で、一体感が生まれて来つつあるという手応えも感じているところであります。町内の各団体が組織を統合して全町のな取り組みを始めており、行政も昨年統一して敬老会を実施、そしてこの1月14日には成人式をいか所で行う予定にしています。まちづくりを考えた時、何と言っても、町民のみなさんの一体感が必要不可欠であり、着実にその芽が育っていることは福智町の将来に明るい一筋の光を見る思いがしています。

ところで、私も、町の財政基盤の再建強化を施策の中心に据え、種々努めていますが、正直に言って、課題の多さに頭を悩ませております。税や使用料等の滞納問題をはじめ、町立養護老人ホーム・天郷荘、や町立保育所の運営を今後どうするか、そしてコスモス診療所・方城診療所のあり方、更には、この数年利用者が減り続けているB&G温水プールや勤労者体育センターのこと、加えて、旧方城町庁舎・旧赤池町庁舎の支所機能を含めて取り扱いはどうすべきか等、一日も早く方向性を示さなければならぬ事業ばかりです。また、公設として運営している「日王の湯」や「ぶじ湯の里」の2つの温泉施設は、「観光のまち」を目指す本町にとって、貴重な資源であり、その有効活用をどう図っていくべきか、このことも、大変重要な課題であります。

いすれにいたしましても、町の方針が固まり次第、タウンミーティング等を開催して、ご報告をさせていただきますたいと思っております。結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



Photo / 福智山頂からまちを臨む